1補助金の概要 【No.284】

111101並47705										Ki teize i
補助金名称	旭川生涯学	空間フェア「ま	まなびピアあ	さひかわ』	開催負担金					
補助金の性格	団体への補	助(事業費	:補助)				始期	R6	終期	_
予 算 事 業 名	生涯学習振	興費					(事業コー	-ド)	051101	
所 管 部 署	社:	会教育 部	社	会教育 課			電	話番号	内線 6	326
交付先(団体、個人等)	まなびピアな	あさひかわ	実行委員会							
交付目的	(対象) 誰、何に対して 旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」									
义的目的	(意図) どういう状態	態にしたい						会を立ち上 還元につな		に企画・運
対象事業等の内容	旭川生涯学	空習フェアの	企画•運営((企画検討会	ὰ議)、チラシ	ン作成、当日	日の運営、原	広報・周知等	;	
積算方法	旭川生涯学	や習フェアの	実施に係る	経費で予算	の範囲内					
	① 来場者	数			単位:人	2				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の天禎	_	-	-	_	1,051					
	(1) 実行委員が主体	本的に企画立案や運営	に関わることができたと	と思うと回答した割合	単位:率	② 実行委員が	学習成果を還元す	する取組ができたと	思うと回答した割合	単位:率
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	-	_	-	_	90.6%	-	_	_	_	82.4%

			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度繰越	- -	1- 1- 1 ~ (V)	1-11-12	1- 1H- 1 2 (2/07)	1-16/1/2017
址		市負担金				20	20
補助対象事業等	収	11				20	20
対	入内	天1]安良玄良也					
象	訳						
争業							
		その他					
の		、合計				20	20
収支	市補	前助率(%)				100.0%	100.0%
支状	支出	合計				20	20
況		うち食糧費、交際費					
	次年	度繰越					
	一般	 財源				20	20
	特定	 〖財源					
市	ı	人工				0.2	0.2
負担	件	正職員 金額				1,567	1,615
負担額	費	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■					
нд	その	└──── ○他事務費					
	合計					1,587	1,635
受:						19,713	19,779
		単位コスト(単位:円)				81	83
			◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目!	L 的、支出範囲が法令の規	 定に抵触しない
		共通事項	◆ 交付申請等が定めた				, <u> </u>
		団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ		物 事業内突等と補助日	的との整合性がとれている	3
滴	恪性	会計処理等	→ 決算における繰越金			はってくと 正日 エル・これり こり・で	ע
	I I I I	云前处垤等				を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	である。
			・市内で生涯学習に取り組みる。	祖む個人や団体の代表者	音等を中心とした実行委員	社会を立ち上げ企画運営し	ており、目的に合致して

[No 284]

と (4) 見直し期間 い(対象外) の (終期設定) □ 同一団体補助だが、見直し 占 していない	J	9別項日に刈りる計	F1Ш	[No.284]
● 本業党は加速と前体、認則会等を対象外		項目		→ 評価
(1) 対象整数			◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
② 例外的に最極等一定の上眼観さ前交に列案		/ 4\+ ↓####	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
②要益者負担 ② 遠正な負担を設定		(1)对家栓實	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
(2) 受益者負担			◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
◆ 上記以外	1		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
(3) 補助率の参考 基準		(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
3(3) 補助率の参考 基準			◆ 上記以外	■ 合致しない
### 基準			◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
### 基準		(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
(終期設定)	補		◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
(終期設定)	切ぐ		◆ 上記以外	■ 合致しない
(終期設定)	立		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
(終期設定)	付付			□ 有(4年以上)
(終期設定)	基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
(終期設定)	準	(A) B ± 1 #088	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではな
適合性性 (5) 交付規程(制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅 □ 合致する (支出根拠) ◇ 上記以外 □ 合致しない □ 機和告時、支出証拠書類提出有 ◆ 領の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施 ○ 素積報告時、支出証拠書類提出有 ◆ 領の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施 ○ 素積報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 □ 合致しない □ 伝表の内容を踏まえての評価) □ 概ね合致する □ 概ね合致する ○ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) ○ 人記以外 □ 合致しない □ 合致しない □ 公益性が高い □ 公益性が高い □ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない □ 公益性が高いとは言えない ○ 位の内容を踏まえての評価) □ 公益性が高いとは言えない ○ 位の内容を踏まえての評価) □ 必要性が高いとは言えない ○ 位の内容を踏まえての評価) □ 必要性が高いとは言えない ○ が表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま				い(対象外)
(5) 交付規程 (支出根拠) ◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅 ■ 合致する ((於州政化)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
(5) 交付規程 (支出根拠) ◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅 ■ 合致する (していない
(5) 交付規程 (支出根拠) ◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅 ■ 合致する (□ 奨励目的補助だが、終期を設定
(支出根拠) ◇ 上記以外 □ 合致しない (6)支出を証する書類の添付 ◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有 □ 合致する(※左欄2項目とも適合) ◇ 実績報告時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施 ○ 無額は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) □ 概ね合致する ② 上記以外 □ 伝の補助金の公益性を、具体的に記入する) □ 佐の内容を踏まえての評価) 2公益性 □ (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) □ 公益性が高いとは言えない 週川生涯学習フェアは、旭川市教育委員会・実行委員会の共催による公的行事である。 □ 公益性が高いとは言えない 1回 公益性が高いとは言えない □ 公益性が高いとは言えない 2 公益性が高いとは言えない ○ 要性が高い 2 公益性が高いとは言えない □ 必要性が高いとは言えない 3 必要性 □ (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) □ 必要性が高いとは言えない 日間日生涯学習フェアの開催により、市民に学習情報や学習機会を提供することができているとともに、市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、「主体的に企成業や連営に関わることができたと思う」「学習成果を還元する取組ができたと思う」」の際とが高いとは言えないに考える。 □ 効果が高い 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 □ 効果が高いとは言えない 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 □ 効果が高いとは言えない	'-			していない
◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有		(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
● 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施 (※左欄2項目とも適合) 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) 上記以外 (この補助金の公益性を、具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価) 四川生涯学習フェアは、旭川市教育委員会・実行委員会の共催による公的行事である。 公益性が高いとは言えない 公益性が高いとは言えない 公益性が高いとは言えない 公益性が高い ○公益性が高い ○公妻性が高い ○○公妻性が高い ○○公妻性が高い ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
(6) 支出を証する 書類の添付			◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	
書類の添付 ◇ 実顔牧活所、書類人童で、畑口唯能や実地調査等で添わに替えている。 ◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 (この補助金の公益性を、具体的に記入する) 旭川生涯学習フェアは、旭川市教育委員会・実行委員会の共催による公的行事である。 (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) ル川生涯学習フェアは、実行委員会により企画運営を行い開催される行事であるとともに、市の各部局が事業を周知する場にもなっており、その実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) ル川生涯学習フェアの開催により、市の実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) ル川生涯学習フェアの開催により、市の実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) ル川生涯学習フェアの開催により、市の実施を選供することができているとともに、市の専業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、「主体的に企画立案や運営に関わることができたと思う」「学習成果を還元する取組ができたと思う」と回答した割合が80%を超えており、地域人材の育成の一助となっていると考えられるため、効果が高いとは言えない「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 5その他 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。		(6) 古出た証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
◇ 書類は添付済だが、実地調査は来実施(ただし、不要な盲合埋的な説明が可能なもの) ○ 上記以外 (この補助金の公益性を、具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価) 旭川生涯学習フェアは、旭川市教育委員会・実行委員会の共催による公的行事である。 ○ 公益性が高いとは言えない (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価) 旭川生涯学習フェアは、実行委員会により企画運営を行い開催される行事であるとともに、市の各部局が事業を周知する場にもなっており、その実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。 ● 必要性が高いとは言えない (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)旭川生涯学習フェアの開催により、市民に学習情報や学習機会を提供することができているとともに、市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施レアンケート結果から、「主体的に企画立案や運営に関わることができたと思う」「学習成果を還元する取組ができたと思う」と回答した割合が80%を超えており、地域人材の育成の一助となっていると考えられるため、効果が高いとは言えない「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 「効果が高いとは言えない「効果が高いとは言えない」 5その他 「(2): 当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	□ 概ね合致する
2公益性 (この補助金の公益性を、具体的に記入する) 旭川生涯学習フェアは、旭川市教育委員会・実行委員会の共催による公的行事である。 (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) 旭川生涯学習フェアは、実行委員会により企画運営を行い開催される行事であるとともに、市の各部局が事業を周知する場にもなっており、その実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) 旭川生涯学習フェアの開催により、市民に学習情報や学習機会を提供することができているとともに、市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、「主体的に企画立案や運営に関わることができたと思う」「学習成果を還元する取組ができたと思う」と回答した割合が80%を超えており、地域人材の育成の一助となっていると考えられるため、効果が高い「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 1-(2): 当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。		自然公/小门	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
2公益性 加川生涯学習フェアは、旭川市教育委員会・実行委員会の共催による公的行事である。 □ 公益性が高い □ 公益性が高い □ 公益性が高い □ 公益性が高い □ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない (たの内容を踏まえての評価) 加川生涯学習フェアは、実行委員会により企画運営を行い開催される行事であるとともに、市の各部局が事業を周知する場にもなっており、その実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。 □ 必要性が高いとは言えない □ 必要性が高いとは言えない □ 必要性が高いとは言えない □ 必要性が高いとは言えない □ が要性が高いとは言えない □ がまれるともに、市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、「主体的に企画立案や運営に関わることができたと思う」と回答した割合が80%を超えており、地域人材の育成の一助となっていると考えられるため、効果が高いとは言えない □ 効果が高いとは言えない □ 効果が高いとは言えない □ 対果が高いとは言えない □ はまる交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 □ (1-(2):当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。			·	* * * * * * *
2公益性 (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) (上の内容を踏まえての評価)				
□ 公益性が高いとは言えない (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) 旭川生涯学習フェアは、実行委員会により企画運営を行い開催される行事であるとともに、市の各部局が事業を周知する場にもなっており、その実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) 旭川生涯学習フェアの開催により、市民に学習情報や学習機会を提供することができているとともに、市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、「主体的に企画立案や運営に関わることができたと思う」「学習成果を還元する取組ができたと思う」」 効果が高い 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 1-(2):当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。	24	公益性	旭川生涯学省フェアは、旭川市教育委員会・実行委員会の共催による公的行事である。	■ 公益性が高い
3必要性		» · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
旭川生涯学習フェアは、実行委員会により企画運営を行い開催される行事であるとともに、市の各部局が事業を周知する場にもなっており、その実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。				□ 公益性が高いとは言えない
おいまた 日が事業を周知する場にもなっており、その実施経費として、主催者である旭川市からの負担金が必要である。				(左の内容を踏まえての評価)
要である。 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価) 旭川生涯学習フェアの開催により、市民に学習情報や学習機会を提供することができているとともに、 市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、 「主体的に企画立案や運営に関わることができたと思う」「学習成果を還元する取組ができたと思う」と 回答した割合が80%を超えており、地域人材の育成の一助となっていると考えられるため、効果が高い 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 1-(2): 当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。	3 ј	ら 必要性		■ 必要性が高い
4効果 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) 旭川生涯学習フェアの開催により、市民に学習情報や学習機会を提供することができているとともに、 市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、 「主体的に企画立案や運営に関わることができたと思う」「学習成果を還元する取組ができたと思う」と 回答した割合が80%を超えており、地域人材の育成の一助となっていると考えられるため、効果が高いとは言えないと考える。 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 「一(2):当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。 (左の内容を踏まえての評価) 効果が高い □ 効果が高い				□
### 10				
4効果 市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、「主体的に企画立案や運営に関わることができたと思う」「学習成果を還元する取組ができたと思う」と回答した割合が80%を超えており、地域人材の育成の一助となっていると考えられるため、効果が高いと考える。 □ 効果が高いとは言えない 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 1-(2): 当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。				(左の内谷を踏まえての評価)
回答した割合が80%を超えており、地域人材の育成の一助となっていると考えられるため、効果が高いと考える。 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 1-(2): 当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。	ᄼᅒᄪ		市の事業を周知する場にもなっている。また、事業終了後に実行委員に実施したアンケート結果から、	■ 効果が高い
いと考える。 □ 効果が高いとは言えない 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 1-(2): 当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。	4×	小未		
「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 1-(2): 当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。				□ 効果が高いとは言えない
5その他 1-(2): 当該行事は公的なイベントであり、受益者負担は設定しない。				
			・ 補助並又刊	
	5₹	の他		
			1-(3):公的行事の実施を目的に組織された実行委員会に支出する負担金であり、補助率を定めること 	まなじまない。

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	実行委員の担い手が少ない。
解決に向い	ナた取組	生涯学習団体が活動する場所にポスターやチラシを設置するとともに、公民館サークル等への周知に努める。

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	地域社会を担う人材の育成や学習成果の還元が効果的に進むように検討しながら継続する。
外部評価	_	_
2次評価	継続	-

1補助金の概要 【No.285】

補 助 金 名 称	ジオパーク	構想推進哥	掌負担金								
補助金の性格	団体への補助(運営費補助)						始期	H2	29	終期	_
予 算 事 業 名	ジオパーク	構想推進費	ŧ				(事業=	コード)		051	106
所 管 部 署	社会	会教育 部	社:	会教育 課				電話番	号	内線(6328、6320
交付先(団体、個人等)	大雪山カム	イミンタラシ	ジオパーク棒	構想推進協	議会						
	(対象) 誰、何に対	して	上川中部 <i>0</i> ジオパーク			・構成員とし	.旭川市:	長を会身	長とする	る大雪山	カムイミンタラ
交付目的	(意図) どういう状態	態にしたい		の関わりを	学べる場所	「ジオパー	ク」として	認定さ			じて地域の成 育みながら地
	大雪山カム 事業(フォー						☑営費, シ	ジオパー	−ク構想	普及の	ための各種
積算方法	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会に係る経費で予算の範囲内										
	① 事業実施回数 _{単位:回} ②							単位:			
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	F	R04	R05	R06
の実績	64	41	23	19	20						
	① 事業参	加者数		•	単位∶人	2	•			.	単位 :
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03		R04	R05	
実績	1,831	2,252	2,998	3,993	4,129						

2収支状況等 単位·千円

24	又支	犬況等						単位:千円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度	繰越	760	3,019	2,895	969	2,796
補	収	市負担	金	2,350	1,988	2,000	7,000	7,000
助対	入	協議会	負担	180	180	210	350	350
助対象事	内	助成金		1,168	300		100	500
事	訳							
業等		その他		6	30	72	123	63
の	収力	合計		4,464	5,517	5,177	8,542	10,709
収工	市初	輔助率(%	6)	52.6%	36.0%	38.6%	81.9%	65.4%
支状	支出	出合計		1,445	2,622	4,208	5,746	10,709
況		うち食糧	費、交際費					
	次年	F度繰越		3,019	2,895	969	2,796	0
	一般財源			2,350	1,988	2,000	7,000	7,000
	特定財源							
市	L	丁聯号	人工	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
負担額	人件	正職員	金額	1,502	1,535	1,551	1,567	1,615
額	費	臨時・嘱託/	会計年度任用職員					3,200
	その	他事務	費					
	合言	+		3,852	3,523	3,551	8,567	11,815
受:	益対	象者数		360,448	356,767	364,848	360,696	356,076
補具	助金	単位コスト	(単位:円)	11	10	10	24	33
		++ :	通事項	◆ 支出根拠が法令、第	そ例、規則、要綱等に基づ	づいている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	見定に抵触しない
	-		世争块	◆ 交付申請等が定めた	たとおりになっている			
\- -	ادا جا		体の運営、	◆ 会計処理が適正で	ある ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてし	いる
道	恪性	会	計処理等		を(剰余金)が補助額から			
				市7町7民間団体により	者のもと行われているほ 企画運営されており、目 t、翌年度当初の安定的	的に合致している。		
				I				į.

3個別項目に対する評価 [No.285]

3 II	国別項目に対する評	〒1四	(No.285)
	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助金		◆ 上記以外	■ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助では
ع	(4)見直し期間 (終期設定)		ない(対象外)
の	(於粉取足)		■ 同一団体補助だが、見直し設
適合	(5)交付規程 (支出根拠)		定していない
性			□ 奨励目的補助だが、終期を設
'-			定していない
		◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(c) + 111 <i>+</i> = 1 + 7	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	自及公加门	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	· 益性	本市及び周辺地域の地域振興等を目的とした事業を行っており、不特定多数の住民に	■ 公益性が高い
21	¥ Ⅲ 1 工	直接的・間接的に効果が行きわたるものであるため、公益性は高い。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	必要性	補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない。	■ 必要性が高い
ر	7512		
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) 広域に及ぶ郷土愛の醸成と地域振興を目的とした協議会の運営費を負担しており、地域	
4効果		広域に及ぶ郷土愛の醸成と地域振典を目的とした励識去の連呂賃を負担しており、地域 の成り立ちを学ぶ講座やツアー等の事業を展開し、参加した地域住民に対し、地域やジ	■ 効果が高い
		オパーク構想について、理解を深めてもらうことができた。	 □ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
		情別並入り 基年との適合性 で百以しない理由に りいし、記載し説明 9 ること。	
53	の他	1-(2):本市及び周辺地域の地域振興等を目的としており、受益者負担はなじまない。	₽₽
		1-(3):特定事業の実施を目的に組織された実行委員会に支出する負担金であり、補助率 1-(4):事業の性質上、終期を設定していない。	を定めることはなじまない。
		「トサン・ 尹未りに見工、於拗で政たししいない。 	

4令和3年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(行以評価)</u>	
補助金名称(当時)	ジオパーク構想推進事業負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	「ジオパーク」として認定されるため、効果的で経済的な手法について引き続き検討を続けること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和5年度	令和5年度からは当麻町が参画し、1市7町の地域資源を題材とした事業を展開、事業参加者数が増加している。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課		財源確保及び専門的知識を有した人材の確保。
解決に向	けた取組	活用可能な交付金等の検討及び地域おこし協力隊制度の活用。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向					
1次評価	継続	日本ジオパーク認定に向けて、今後も事業展開の充実を図りながら継続する。					
外部評価	1	_					
2次評価	見直し	今後行う日本ジオパーク認定申請の結果を踏まえ、事業内容を見直すこと。					

1補助金の概要 【No.286】

補助金名称	旭川市20歳	退川市20歳を祝うつどい開催負担金								
補助金の性格	団体への補	団体への補助(事業費補助)					始期	H11	終期	_
予 算 事 業 名	社会教育振	長興費					(事業コ	ード)	0512	02
所 管 部 署	社	会教育 部	社	会教育 課			Ī	電話番号	内線	6326
交付先(団体、個人等)	旭川市20歳	旭川市20歳を祝うつどい実行委員会								
交付目的	(対象) 誰、何に対	して	旭川市20歳	まを祝うつど	l)					
XN EN	(意図) どういう状態			.る若者自ら 1身の意見を			:げ、つどし	ハの企画 運	営を行うこ。	とで、実施内
対象事業等の内容	20歳を祝う	つどいの企	画運営(企區	画検討会議	、リーフレッ	ット作成、記	念品準備	、出演者調	整、当日の	式典運営等
積算方法	20歳を祝う	つどいの実	施に係る経	費で予算の	範囲内					
	① 市内に	住む20歳の	方		単位:人	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05			R03	R04	R05	R06
の実績	2,588	2,531	5,243	2,669	2,566					
h = 11.1= 1.1= 1.1= 1.1= 1.1= 1.1= 1.1=	① 当日参	加率			単位:率	2				
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	(延期)	52	74	78	79					

				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度	E繰越	105	7	0	134	155
補	収	市負担	金	620	1,228	700	1,081	700
助対	入	実行委	員会負担					
象	内訳	広告料	収入	0	270	135	105	0
事	兀							
象事業等		その他	ļ					
の	収入	.合計		725	1,505	835	1,320	855
収支状	市補	助率(%)	85.5%	81.6%	83.8%	81.9%	81.9%
大	支出	合計		718	1,505	701	1,165	855
況		うち食料	量費、交際費	12	0	0	0	
	次年	度繰起	<u>戈</u>	7	0	134	155	0
	一般	財源		620	1,228	700	1,081	700
	特定財源							
市	人	正職員	、人工	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
負担額	件	正鸭兵	金額	1,502	1,535	1,551	1,567	1,615
額	費	臨時・嘱託/	/ 会計年度任用職員					
	その	他事務	費					
	合計	計		2,122	2,763	2,251	2,648	2,315
受	益対	象者数		2,531	5,243	2,669	2,566	2,376
補具	助金单	単位コス	.h(単位:円)	838	527	843	1,032	974
		44	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
		7	(世事识	◆ 交付申請等が定めた	:とおりになっている			
		豆]体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	内との整合性がとれている	5
適	恪性	会	計処理等	◆ 決算における繰越金				
				・20歳の対象者を中心とし	、た実行委員会を立ち上 (また、監事から会計監査 げ企画運営しており、目的 を図る上で必要であり、追	りに合致している。	である。

3個別項目に対する評価 [No 286]

J	コルタローグリックロ	т <u>ш</u>	[140.200]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/a\11 5 .47 #	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担		
	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助		◆ 上記以外	■ 合致しない
補助金交付		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
人			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準と		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
適合			していない
台性			- - □ 奨励目的補助だが、終期を設定
II			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
		◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	公益性	20歳を祝うつどいは、旭川市・旭川市教育委員会・実行委員会の三者共催による公的行事である。	■ 公益性が高い
			(左の内容を踏まえての評価)
3 ij	· 要性	20歳を祝うつどいは、実行委員会により企画運営を行い開催される行事であり、その実施経費として、	■ 必要性が高い
٠ <u>%</u>	女は	主催者である旭川市からの負担金が必要である。	
			□ 必要性が高いとは言えない
4効里		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		実行委員会が企画運営する20歳を祝うつどいの経費のうち約84%を負担し、20歳を迎える方の門出を祝い、その前途を激励している。式典の参加率は、コロナ禍の時期を除けば、例年70%を超えており、	■ 効果が高い
		式典への関心の高さや必要性が認められるとともに、育った地域への郷土愛を育むことにもつながっ	
		ている。また、式典で開催する抽選会では、地場産品を景品とすることで旭川市の魅力を再発見しても	□ 効果が高いとは言えない
		らう機会とした。	
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
C 2	- O /#	1-(2): 当該行事は公的な式典と祝賀イベントであり、受益者負担は設定しない。 1-(3): 公的行事の実施を目的に組織された実行委員会に支出する負担金であり、補助率を定めること	はなじまない。
57	の他	※コロナのため、R2年度開催分を延期としR3年度に実施し、R4年度にR3年度とR4年度分を実施。R4の)「事業量指標と過去5年間の実績」の「市
		内に住む20歳の方」は合算した数値(R3年度分:2,760人、R4年度分:2,473人)、「成果指標と過去5年間	引の実績」も合算した割合(R3年度分:
		71%、R4年度分: 76%)	

4令和3年度行政評価への対応状況等(行政証価)

<u>(行以評価)</u>	
補助金名称(当時)	成人を祝うつどい実行委員会補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	引き続き協賛金などの収入を確保しながら、継続する。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(ての他の兄旦し)	
目直しの任使	
元旦しの千尺	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	実行委員の担い手が少ない。
解決に向い	けた取組	市内の大学や企業等への担い手確保に向けた周知に努める。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	当該行事は、三者の共催による公的な式典と祝賀イベントであるため継続する。
外部評価	_	
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.287】

									[140.207]
補助金名称	旭川市PTA連合会各科	U川市PTA連合会各種事業補助金							
補助金の性格	団体への補助(事業費	体への補助(事業費補助)					_		
予 算 事 業 名	社会教育振興費					(事業コー	ード)	05120)2
所 管 部 署	社会教育 部	社会教育 部 社会教育 課 電話番号 内線 6326					6326		
交付先(団体、個人等)	旭川市PTA連合会						-		
交付目的	(対象) 誰、何に対して		€員(市内の 「る各種事業		皇童生徒の係	髹護者、教	職員)で組絹	戦する旭川市	5PTA連合
מום מו	(意図) どういう状態にしたい	旭川市PTA め、子どもの			党大会や研	修等を通し	て、保護者	及び教職員	の資質を高
対象事業等の内容	保護者及び教職員を対	対象とした研	究大会や研	修会の開催	i、旭P連だ。	より(会報)	の発行等		
積算方法	事業実施経費(報償費 の範囲内	、旅費、印刷	削消耗費、通	值運搬費、	手数料、使	用料賃借	料、負担金)	の2分の1	以内で、予算
	① 市内PTA会員数			単位:人	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	20,806 20,585	20,265	19,946	19,348					
	① 研究大会等への参	加者数		単位:人	2		-		単位:
成果指標と過去5年間の	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	362 614	702	720	656					

24	2収支状況等							
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度	繰越					94
補	収	市補助:	金	457	500	500	500	500
助対	入	連合会	負担	700	875	1,109	1,417	871
象	内							
事	訳							
助対象事業等		その他						
の	収入	合計		1,157	1,375	1,609	1,917	1,465
収支状	市補	助率(%	6)	39.5%	36.4%	31.1%	26.1%	34.1%
火状	支出	合計		1,157	1,375	1,609	1,823	1,465
況		うち食糧	費、交際費	15	27	108	84	30
	次年	度繰越		0	0	0	94	0
	一般	財源		457	500	500	500	500
	特定財源							
市台	人	正職員	人工	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
負担額	件	工	金額	75	77	78	78	81
額	費	臨時・嘱託/	会計年度任用職員					
	その	他事務	費					
	合討	<u> </u>		532	577	578	578	581
		象者数		20,585	20,265	19,946	19,348	19,195
補」	功金島	単位コスト	(単位:円)	26	28	29	30	30
		#	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づい	へている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規定	とに抵触しない
			<u></u>	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている			
'卒·			体の運営、	◆会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	り、事業内容等と補助目的	」との整合性がとれている	
迥'	合注	会	計処理等		(剰余金)が補助額から判			
				会計処理については、総会	会時に会計監査報告が行	われているため適正と考え	える。	
11/	1 7.1	th /		·和2年度7 500千円 - 今				

3個別項目に対する評価 [No 287]

O III	型が独立に対する計	л ш	[140.207]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/1\≒+色奴弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない ■ 合致しない ■ 合致しない □ 有(4年未満) □ 有(4年未満) □ 相続4年未満 □ 同に対象外) ■ 同に対象外) ■ 同に対象が、見直し設定していない □ 奨励目的補助だが、見直し設定していない □ 対象する □ 合致する □ 合数する
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
佣品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金金		◇ 上記以外	□ 合致しない
補助金交付基準と		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)見直し期間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	
との	(終期設定)		い(対象外)
海	(#< / 01 12 / C /		
合			していない
適合性			
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	
	(支出根拠)	◇ 上記以外	
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
		◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	公益性	市内の小中学校児童生徒の保護者や教職員で組織されているため、民営化自立化の余地がない。	■ 公益性が高い
			- n 4 la 19-1, 1 1 1 = - 1, 1
		/	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		補助事業に類似したサービス等を提供する団体がないことから、必要であると考えられる。	■ 必要性が高い
			□ 必要性が高いとは言えない
		┃ (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		保護者や教職員の資質向上を図る研修等を毎年度実施しており、令和6年度は、子育てに関	■ 効果が高い
		する課題についての情報交流や教育課題の協議等を通して、保護者の学習意欲の向上や児	
		童生徒の健全育成を図ることにつながっていることから、効果は高いと考えられる。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
5₹	の他	 1-(4): 受益者が毎年変わっており、また、児童生徒の健全育成を図るという観点からも継続する	6必要があると考えられる。
		1	

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政証価)

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	旭川市PTA連合会各種事業補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向							
1次評価	継続	保護者及び教職員の資質を高め、子どもたちの健全育成につながる効果的な研修等が実施されるよう、補助を継続する。							
外部評価	_	_							
2次評価	継続	_							

1補助金の概要 【No.288】

											[140.200]
補助金名称	リハーサル	ホール運営	含人	旦金							
補助金の性格	団体への補助(事業費補助)						始期	Н	9	終期	-
予 算 事 業 名	文化芸術活	5動振興費					(事業=	コード)		0521	03
所 管 部 署	社	会教育 部	文	化振興 課				電話番	:号	内線	6324
交付先(団体、個人等)	リハーサル	ホール運営	控員会								
	(対象) 誰, 何に対	して	リハーサル	ホール運営	含 員会						
	(意図) どういう状態					保し文化芸 化意識の高			比を図る	るとともに	、歴史的建
対象事業等の内容	舞踊•音楽	団体等の網	習場所とな	るリハーサ	ルホールの)維持管理な	など。				
積算方法 リハーサルホール運営委員会に対する負担金交付要綱に基づく負担基準による。											
	① リハー	ナルホール	利用団体数	Ţ	単位:団体	2					単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	I	R04	R05	R06
の夫根	18	18	20	23	18						
	1 リハー	サルホール	利用回数		単位:回	2					— 単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03		R04	R05	R06
実績	475	528	705	803	712						

2四支状况等

2収	収支状況等 単位:千円								
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)	
		前年度	E繰越	1,123	936	983	1,254	1,350	
補	収	市負担	金	2,000	2,140	2,140	2,140	2,000	
助計	入	運営す	美員会負担	775	990	1,224	1,011	1,050	
象	内								
事	訳								
助対象事業等		その他	2						
の	収入	合計		3,898	4,066	4,347	4,405	4,400	
収支	市補	助率(%)	51.3%	52.6%	49.2%	48.6%	45.5%	
収支状	支出	合計		2,961	3,083	3,093	3,055	4,400	
況		うち食	糧費、交際費						
	次年	度繰起	<u>戈</u>	936	983	1,254	1,350	0	
	一般	財源		2,000	2,140	2,140	2,140	2,000	
	特定	財源							
市	人	正職員	人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
市負担額	件	正明	金額	751	767	776	783	808	
額	費	臨時•嘱託	/会計年度任用職員						
	その	他事務	務費						
	合計	<u> </u>		2,751	2,907	2,916	2,923	2,808	
受益	监 対	象者数		18	20	23	18	20	
補貝	力金草	単位コス	スト(単位:円)	152,833	145,350	126,783	162,389	140,400	
		±	共通事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	内、支出範囲が法令の規	定に抵触しない	
			······································	◆ 交付申請等が定め <i>†</i>	ことおりになっている				
٠ غد +	ᄷᄮ	5	団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	ある ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてい	る	
迪作	各性	全	計処理等		注(剰余金)が補助額から				
				会計処理は会計責任者理されている。	のもと行われており, また	:総会において、監査から	会計監査報告を受けてい	いることから、適正に処	
理されている。 繰越金については翌年度当初の安定的な運営を図る上で必要であり、適							正な額である。		

O III		· IIII		[140.200]
	項目	チェック項目等		評価
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外		合致する
	/ 4 \	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外		
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象		概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象		合致しない
		◆ 適正な負担を設定		 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定		
		◇ 上記以外		合致しない
		◇ 団体 1/2以内		合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内		
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内		
助金		◆ 上記以外		合致しない
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)		有(4年未満)
交付				有(4年以上)
基.		◇ 奨励目的の補助、終期を設定		継続4年未満
基準と	/ A \ C + L + H C C C	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上		同一団体、奨励目的補助では
	(4)見直し期間 (終期設定)			ない(対象外)
の	(於朔政正)			同一団体補助だが、見直し設
旭				定していない
適合性				奨励目的補助だが、終期を設
'-				定していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅		合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外		合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有		合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施		(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。		概ね合致する
	百块ツがい	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)		
		◇ 上記以外		合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左	(の内容を踏まえての評価)
24	· 益性	リハーサルホールは、国の登録文化財である歴史的な建物の有効活用と街並みの景観		公益性が高い
~ 1	7 III. 1 I	保存を図るとともに、各種文化団体に練習施設及び創作活動の場として提供していて、本 市の文化芸術活動の一層の振興発展を目的としている。		
		別の文化去削冶到の一層の振典光展を目的としている。 		公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	〔左	(の内容を踏まえての評価)
31		練習場所を確保することで文化芸術活動の活性化を促しているため、利用者負担金を高		必要性が高い
		額にすることにはなじまず、市の支援は必要である。	H	ツ亜性が高いしけまったい
		/-の状叶ムによっていのようわか田がちょれのかた。中体体に甘べた日本かにラスナス)	_	必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	+ -	の内容を踏まえての評価)
4効果		令和5年度のリハーサルホールの年間稼働日数率は8割を超えており、様々な個人・団体 からの需要があると認められることから、本市の文化芸術活動の促進と国の登録文化財	-	効果が高い
		の維持保存に大きな役割を果たしている。	\vdash	効果が高いとは言えない
		 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。		次次 尚 v 已 l c l c l c l c l c l c l c l c l c l
5.2	一の他	1(3)補助率の参考基準:リハーサルホールの管理運営に要する経費に対する負担金、また による維持保存を図るための補助金的負担金である性格と、補助変を実めて会けまること		
	· · —	による維持保存を図るための補助金的負担金である性格上、補助率を定めて交付すること 1(4)見直し期間:施設の運営費に係る補助であり、国指定文化財の維持保存も目的とした負		
		じまない。		

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u>(1〕攻計1叫)</u>	
補助金名称(当時)	リハーサルホール運営委員会負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	利用団体を向上させる取組についても検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和4年度	運営委員会に対して関係団体への呼びかけ等による利用団体の増を図るよう指示し、令和4年度及び令和5年度にかけて利用団体数と利用回数は増となった。
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	運営委員会を組織している性質上、利用団体や利用率が限られる。
解決に向け	ナた取組	運営委員会への新規団体への参画や、所属団体未使用日時の積極的な貸出を促進する取組を行う。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		運営委員会への新規団体の参画や所属団体未使用時の積極的な貸出等の取組について広報面での支援をしながら継続する。
外部評価	1	
2次評価	継続	

1補助金の概要 【No.289】

一冊助並の似女											[140.209]
補 助 金 名 称	旭川市民キ	デャラリー運	営負担金								
補助金の性格	団体への神	助(事業費	補助)				始期	R	1	終期	_
予 算 事 業 名	文化芸術活	動振興費					(事業=	コード)		05210	03
所 管 部 署	社	会教育 部	文 [·]	化振興 課				電話番	号	内線	6335
交付先(団体、個人等)	旭川デザイ	ン協議会									
	(対象) 誰、何に対	して	旭川デザイ	ン協議会							
	(意図) どういう状態	態にしたい	国の登録文	(化財(上川	倉庫)を文	化芸術の角	き表の場	として活	ま用する	, o	
対象事業等の内容	旭川市民キ	デャラリーの	展示運営(利用者対応	や設営補助	助等)及び頭	単物の管	理			
積算方法	圣費を基に 毎	_更 年度予算(の範囲内と	する。							
	① 利用日	数			単位:日	2					単位:
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03		R04	R05	R06
の実績	205	210	275	304	312						
	① 来場者	数			単位:人	2					単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03		R04	R05	R06
実績	3,997	4,702	9,921	10,682	8,578						

2収支状況等 単位·千円

24	2収支状況等								
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)	
		前年度	繰越	591	514	373	345	342	
補	収	市負担	金	6,761	6,561	6,762	6,761	6,762	
補助対象事	入	協議会	負担						
匆象	内								
事	訳								
業等		その他					1	1	
の	収入	合計		7,352	7,075	7,135	7,107	7,105	
収支状	市補	朝)率(%	<u>6)</u>	92.0%	92.7%	94.8%	95.1%	95.2%	
文状	支出	台計		6,839	6,702	6,790	6,765	7,105	
況		うち食糧	費、交際費						
	次年	F度繰越		514	373	345	342	0	
	一般財源			6,434	5,968	6,281	6,320	6,130	
	特定	≧財源		327	593	481	441	632	
市	人	正職員 人工		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
負担額	人件:	正瞡貝	金額	751	767	776	783	808	
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員							
	そσ.	他事務	費						
	合計	†		7,512	7,328	7,538	7,544	7,570	
受:	益対	象者数		4,702	9,921	10,682	8,578	9,000	
補具	功金	単位コスト	(単位:円)	1,598	739	706	879	841	
		++ :	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	を例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	内、支出範囲が法令の規	定に抵触しない	
		,	世争权	◆ 交付申請等が定めが	ととおりになっている				
		団	体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	ある ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてい	る	
適	格性	会	計処理等		②(剰余金)が補助額から				
				会計処理は会計責任者理されている。	のもと行われており, また	-総会において、監査から	会計監査報告を受けて	いることから、適正に処	
					隻当初の安定的な運営を	図る上で必要であり、適	正な額である。		

[|] | ※人件費(正職員分)は、令和3年度7,508千円、令和4年度7,673千円、令和5年度7,755千円、令和6年度7,833千円、令和7年度8,076千円で計算。

3個別項目に対する評価 [No.289]

J	間別項目に対する計 項目	rim チェック項目等	【No.289】 ■ ■ ##
	次口		
		◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	■ 日 玖 9 ②
	(1)対象経費	◆ 足自負債の制度、後 付負、	
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助金		◆ 上記以外	■ 合致しない
並交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)目志! 知問	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助では
کا	(4)見直し期間 (終期設定)		ない(対象外)
の適	(5)交付規程		■ 同一団体補助だが、見直し設
合			定していない
合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設
			定していない
		◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 実績報告時、支出証拠書類提出有	│□ 合致する (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	
	書類の添付	◆ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	■ 概ね合致する
		◇ 音類は添り海にか、美地調査は未美施(たたし、不要な自己性的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		国の登録文化財の有効活用とともに、各種文化芸術団体等の発表の場として、本市の文	(生の内谷を聞よれての計画) ■ 公益性が高い
21	公益性	化芸術活動の一層の振興発展を目的としている。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3业	必要性	補助金に代わる収入がなく、事業の存続が困難になることから、補助金は必要である。	■ 必要性が高い
			□ 必要性が高いとは言えない
		 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		R6年度の利用日数は過去5年間で一番多く、来場者数も、令和4年度以降高い数値となっ	
4効果		ており、各展覧会は賑わいを見せている。	■ 効果が高い
		このことから、本市の文化芸術活動の促進と文化財の維持保存を図る上で、有効な施策	ローが用が言いいたラング
		である。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
	· 0 //h	1(2)受益者負担:様々な団体が使用しており、団体の裁量により入場料の有無や金額設定	
57	たの他	1(3)補助率の参考基準: 交付団体は、あらゆる分野のデザイン関係の個人、企業、団体、ク	「ループ等で構成される任意団体で
		あることから、補助率の適用はなじまない。 1(4)見直し期間:事業の目的から、終期の設定はなじまない。	
		いかにCOMID: 予末の目は10.ついた例の以近にあるしかあり。	

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

_ (1)以計1四/	
	旭川市民ギャラリー管理負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	補助金額については、繰越金を考慮して検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和4年度	補助金申請時の予算案に基づいた適切な予算管理を指示するとともに、繰越金の状況の把握に努めている。
(3 o // o D + L)	

(その他の見直し)

(ての他の兄担し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果
70 E 0 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	XII HOUT THE WORK

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	施設老朽化に伴い、維持管理に必要な経費が増大している。
解決に向い	けた取組	修繕や設備更新の優先順を定めて施設の長寿命化を図り、安定的な運営を目指す。

評価	結果	結 果 理由、改善・見直しの方向						
1次評価	継続	修繕や設備更新の優先順を定めて施設の長寿命化を図り、安定的な運営を目指しながら継続する。						
外部評価	_	_						
2次評価	継続	_						

1補助金の概要 【No.290】

補助金名称	社会教育•	文化芸術事	業補助金							
補助金の性格	団体・個人	団体・個人への補助(事業費補助)					始期	R1	終期	_
予 算 事 業 名	文化芸術活	5動振興費					(事業コー	-ド)	05210	3
所 管 部 署	社	社会教育 部 文化振興 課					電	話番号	内線	6324
交付先(団体、個人等)	社会教育·文 遠征(旭川市	会教育・文化芸術(社会教育・文化芸術事業補助金交付要綱に基づく。):社会教育活動又は文化芸術活動を行う団体等 征(旭川市文化芸術関係全国大会遠征補助金交付要綱に基づく。):全国大会に出場する団体及び個人								
交付目的	(対象) 誰、何に対	1 7	遠征:市内/	こ所在する学	校の長・青	少年派遣団体	本の代表者	う団体等が実 、及び市内在 国大会に参加	住の全国大	会に個人参
Z N G D	(意図) どういう状態	能1-1 ナル	を図る。	文化芸術∶社 の文化芸術 <i>0</i>				向上及び文化)。	と芸術活動 の)振興と発展
対象事業等の内容 社会教育・文化芸術:①家庭教育支援事業②その他の社会教育事業又は文化芸術事業 遠征:文化芸術並びに教育関係の全国大会に参加する部活動等の遠征費用(派遣費用)										
積算方法	②その他の	支援事業 衤	業又は文化	芸術事業 補	前助上限額を	・設定し、補助	助対象経費の	通内 の1/2以内で ⁻	予算の範囲	内
	① 補助交	付団体数(:	社会教育•	文化芸術)	単位∶団体	② 補助交	付団体数	(遠征)		単位:団体
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	6	5	14	16	19	0	1	1	2	2
	① 補助対象	事業の参加者	首数(社会教育	・文化芸術)	単位:人	② 補助対	象事業の	参加者数(遠	(征)	単位:人
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	2,281	1,425	5,974	5,021	7,060	0	41	35	30	47

			A						
			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
	前年度	[繰越							
ıΙσ	市補助	金	410	1,085	910	1,340	1,403		
入	自己負	担	1,576	2,582	2,407	3,115	3,000		
内	入場料	収入	317	6,436	2,916	2,972	3,000		
湉									
	その他	ļ	3,284	4,102	3,945	7,454	5,597		
収入	合計		5,587	14,205	10,178	14,881	13,000		
市補	助率(°	%)	7.3%	7.6%	8.9%	9.0%	10.8%		
支出	台計		5,587	14,205	10,178	14,881	13,000		
	うち食料	量費、交際費	48	321	694	1,003	750		
次年	度繰越	<u> </u>							
一般	財源		187	885	710	719	403		
特定	財源		223	200	200	621	1,000		
件	工啦品	、人工	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
	上 東 貝	金額	2,252	2,302	2,327	2,350	2,423		
費	臨時•嘱託/	/会計年度任用職員							
その他事務費									
合討	ŀ		2,662	3,387	3,237	3,690	3,826		
益対	象者数		1,466	6,009	5,051	7,122	6,000		
助金島	単位コス	.h(単位:円)	1,816	564	641	518	638		
	++	- 海車店	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	がいている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない		
	7	世 尹垻	◆ 交付申請等が定め <i>†</i>	ことおりになっている					
	豆]体の運営、	営、 ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的、事業内容等と補助目的との整合性がとれている						
各性	会	計処理等							
, p.			られる。 遠征:実績報告時に提出 いる。	される支出証拠書類等					
	内訳 以市支 次一特 人件費 6 益	収入内訳収 市支次 一特人件費そ 合 対金市自入そ 合 助合 う 度 財 財 正臨 他者 位の計率計 食 課 源 職 職 事者 位お の 計 率 計 食 表 力表 力	Table Ta	中 市補助金 410 自己負担 1,576 入場料収入 317	市補助金 1,085 1,576 2,582 2,582 2,302 3,387 4,466 6,009 5,254 4,466 6,009 5,464 4,466 6,009 6,476 6,	収入	市補助金 410		

[※]人件費(正職員分)は、令和3年度7,508千円、令和4年度7,673千円、令和5年度7,755千円、令和6年度7,833千円、令和7年度8,076千円で計算。

O III		- Ш	[140.230]				
	項目	チェック項目等	→ 評価				
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する				
	(1) 计各级弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外					
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する				
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない				
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する				
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定					
		◇ 上記以外	□ 合致しない				
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する				
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内					
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内					
切全		◆ 上記以外	■ 合致しない				
1補助金交付基準と		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)				
付			□ 有(4年以上)				
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満				
準	(4) E = 1 #0 BB	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助では				
ے	(4)見直し期間 (終期設定) (5)交付規程		ない(対象外)				
の			□ 同一団体補助だが、見直し設				
適合性			定していない				
性			□ 奨励目的補助だが、終期を設				
'-			定していない				
		◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する				
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない				
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する				
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)				
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する				
	自及りがい	◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)					
		◇ 上記以外	□ 合致しない				
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)				
		社会教育・文化芸術:家庭教育に関する学習機会の充実をはじめ、様々な学びのニーズに応える学 習機会、鑑賞機会の提供、社会教育及び文化芸術に関わる団体や人材の育成支援により、市民ー	■ 公益性が高い				
21	公益性	首機会、鯔員機会の提供、社会教育及び文化会術に関わる団体や人材の育成文法により、市民― 人一人の学びの機会充実、市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実が図られることから、公益性					
		は高い。/遠征:本市の文化芸術の向上及び青少年の健全育成を図るものであり、公益性が高い。	□ 公益性が高いとは言えない				
		(この補助会が必要でもる理点を、具体的に記すます)					
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) 社会教育・文化芸術:文化芸術団体の経済基盤は脆弱であり、入場料や参加料・寄附金等も経済情	(左の内容を踏まえての評価)				
3必要性		勢に左右されやすいため、市の支援が必要である。また、特に家庭教育活動は、実施に当たり独自	┃■ 必要性が高い				
		で事業経費を全て確保することが難しい団体が多いため、補助金の必要性は高い。					
		遠征:本市の文化芸術の向上及び青少年の健全育成を図るため、市の支援は必要である。	□ 必要性が高いとは言えない				
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)				
		公募により市内の社会教育及び文化芸術に関わる複数の市民団体等が幅広く利用できるものであ り、補助によって市民による文化芸術活動の活性化が図られ、対象事業参加者に幅広く効果が及ん	■ 効果が高い				
		でいる。	 □ 効果が高いとは言えない				
5-7	一の他	1(3)社会教育・文化芸術:①家庭教育支援事業:安心して子育てができる環境づくりを進めるため積極的な支援が必要であるが、対象団体は小規模で自己資金を用意できないことも多いことから、10/10以内の補助率としている。ただし、将来的には自立的な活動を促すため、交付年数の制限を設けている。②その他の社会教育事業又は文化芸術事業:団体1/2以内に合致する。/遠征:団体1/2以内、個人1/3以内に合致する。					

4令和3年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

<u>- \ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 </u>	
補助金名称(当時)	社会教育·文化芸術事業補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 補助件数に占める新規団体への補助が少ない。 解決に向けた取組ホームページやSNSを活用して制度の周知に努めていく。

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向					
1次評価	継続	ホームページやSNSを活用して制度の周知に努めながら補助を継続する。					
外部評価	_						
2次評価	継続	_					

1補助金の概要 【No.291】

補助金名称	旭川ユネス	口協会青り	〉年育成事美	業補助金							
補助金の性格	団体への補	亅助(事業費	[補助]				始期	H26	糸	終期	_
予 算 事 業 名	文化芸術活	文化芸術活動振興費					(事業=	一ド)		05210	3
所 管 部 署	社:	社会教育 部 文化振興 課						電話番号	클	内線	6324
交付先(団体、個人等)	民間ユネス	.コ活動事業	美を実施する	文化芸術園	団体						
交付目的	(対象) 誰、何に対	して	文化芸術団 動事業	体が実施す	する旭川市	文化芸術特	持定事業 !	助成方針	で定める	る民間ニ	1ネス⊐活
	(意図) どういう状態	態にしたい	本市の文化	と芸術の発息	展又は青少	⊳年の健全育	育成等を[図る。			
対象事業等の内容	旭川市文化	:芸術特定 [:]	事業助成方	針で定める	民間ユネス	スコ活動事業	ŧ				
積算方法	補助上限額	〔2,000千円	。補助対象	経費の1/2」	以内で、か [·]	つ予算の範	囲内とす	⁻ る。			
	① 補助対	象事業の実	ミ施回数		単位:回	2					単位:
事業量指標と過去5年間の実績	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R	04	R05	R06
の 天視	2	2	2	2	2						
	① 補助対	象事業の参	▶加者数		単位:人	2					単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R	04	R05	R06
実績	39	248	65	179	116						

<u>_</u> 1	XX1/	下况寺						単位∶十円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度網	喿越					
補	収	市補助金	È	100	100	100	100	100
助計	入	協会負担	<u> </u>	124	121	113	149	149
匆象	内							
事	訳							
補助対象事業等		その他						
の	収入	合計		224	221	213	249	249
収支状	市補	助率(%)	44.6%	45.2%	46.9%	40.2%	40.2%
文状	支出	合計		224	221	213	249	249
況		うち食糧	費、交際費	0	0	0	17	17
	次年	度繰越						
	一般財源			100	100	100	100	100
		財源						
市	人	正職員	人工	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
市負担額	人 件 #	正蝦貝	金額	75	77	78	78	81
額	費	臨時•嘱託/会	計年度任用職員					
	その	他事務費	ŧ					
	合計	<u> </u>		175	177	178	178	181
受:	益対	象者数		248	65	179	116	200
補具	功金草	単位コスト	(単位:円)	706	2,723	994	1,534	905
		# 清	事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
			·····································	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
海坂州		団体	本の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれてい	る
		†処理等		(剰余金)が補助額から				
				会計事務の責任者を定め	か、適正な会計処理が行	われている。繰越金は発	生していない。	
					1-1			1

[No 291]

يا ت		- Ш	[140.231]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(4) 土1 在 47 #	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
_		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
((2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	1
補	基準	- ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助		◇ 上記以外	□ 合致しない
金六		- ◇	□ 有(4年未満)
父			□ 有(4年以上)
甘		 ◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
進		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	】□ № パマサイル ┃ □ 同一団体、奨励目的補助ではな
補助金交付基準との	(4)見直し期間 (終期設定)	▼ 松利不以足し、間切性似け井以上	い(対象外)
の適			■ 同一団体補助だが、見直し設定
合			していない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
		◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
2/	· 益性	世界の平和と人類の福祉に貢献する国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)憲章の精神	■ 公益性が高い
21	A IIII I	にのっとり、教育、科学及び文化を通じた国際理解と国際協力を推進する事業として、公益 性が高いものである。	
		性が高いものである。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		世界の平和と人類の福祉に貢献する国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)憲章の精神	■ 必要性が高い
		にのっとり、教育、科学及び文化を通じた国際理解と国際協力を推進する事業として、文化 芸術活動の促進を図る上で有効な施策である。	
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		ユネスコ憲章の理念に基づいた青少年対象事業を実施することで全国各地で展開するユ ネスコの活動を支えており、事業費の約5割を補助することで、世界規模の取組の一環が本	■ 効果が高い
		市においても実施されている効果は高い。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	•
5₹	での他	1(2)青少年の健全育成のために開催する民間ユネスコ活動事業であり、コンクール形式で小を対象とする事業のため、どちらも参加費の徴収はなじまない。	中学生を対象とする事業と、留学生
		1(4)見直し期間:事業の目的と公益性の観点から、終期を設定していない。	

4令和3年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(1丁以評1四)</u>	
補 助 金 名 称(当 時)	旭川ユネスコ協会青少年育成事業補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(7.0 W. 0 E ± 1.)	
(その他の見直し)	

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

	課	題	旭川ユネスコ協会会員の高齢化により申請・実績報告書の作成が困難になってきている。
1	解決に向い	ナた取組	分かりやすく丁寧な説明を心がけるなど、できる限りの支援を行う。

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向					
1次評価	継続	かりやすく丁寧な説明を心がけるなど、できる限りの支援を行いながら補助を継続する。					
外部評価	-	-					
2次評価	継続	_					

1補助金の概要 【No.292】

補助金名称	小熊秀雄賞	\能秀雄賞事業補助金								
補助金の性格	団体への補	亅助(事業費	(補助)				始期	H26	終期	-
予 算 事 業 名	文化芸術活	動振興費					(事業コー	-ド)	052103	3
所 管 部 署	社:	会教育 部	文	化振興 課			電	話番号	内線(324
交付先(団体、個人等)	文化人顕彰	/事業を実施	をする文化:	芸術団体						
交付目的	(対象) 誰、何に対	対象) 文化芸術団体が実施する旭川市文化芸術特定事業助成方針で定める文化人顕彰事業								
	(意図) どういう状態	意図) ごういう状態にしたい 本市の文化芸術の発展等を図る。								
対象事業等の内容	旭川市文化	之芸術特定 『	事業助成方	針で定める	文化人顕章	钐事業				
積算方法	補助上限額	頁2,000千円	。補助対象	経費の1/2.	以内で、か [·]	つ予算の範	囲内とする	,)		
	① 受賞者	数			単位∶人	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	1	2	1	1	1					
	① 補助対	象事業の参	別者数		単位∶人	2				. 単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	74	64	64	64	65					

2収支状況等 単位·千円

				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)	
		前年度総	桑越						
補	収	市補助金	ž	450	450	450	450	450	
助	入	実行委員	会負担	249	740	744	725	725	
象	内								
事	訳								
補助対象事業等		その他		1,251	292	312	248	248	
の	収入	合計		1,950	1,482	1,506	1,423	1,423	
収支状	市補	助率(%)	23.1%	30.4%	29.9%	31.6%	31.6%	
文状	支出	合計		1,951	1,492	1,506	1,423	1,423	
況		うち食糧	費、交際費	34	32	4	5	5	
	次年	度繰越							
	一般	財源		450	450	450	450	450	
	特定	財源							
市	人	正職員	人工	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
負担額	件	正顺貝	金額	75	77	78	78	81	
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員							
	その	他事務費	Ī						
	合討	<u> </u>		525	527	528	528	531	
受:	益対	象者数		64	64	64	65	70	
補具	功金島	単位コスト	(単位:円)	8,203	8,234	8,250	8,123	7,586	
			通事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない	
				◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている				
`卒-	団体の週 適格性 合計 加田		の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目1	的との整合性がとれてい	3	
迥/	计计	会計	処理等		(剰余金)が補助額から				
				会計事務の責任者を定め	の、適正な会計処理が行	われている。繰越金は発	生していない。		
				100 F B 2 F 00 F B 2					

3個別項目に対する評価 [No 292]

O III		- Щ	[110.232]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/1/六+各奴弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◇ 上記以外	□ 合致しない
立		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			□ 有(4年以上)
基.		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	/ 4 \	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	- □ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の			■ 同一団体補助だが、見直し設定
旭			していない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
'-			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
		◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	· 益性	旭川ゆかりの文化人(故人)を顕彰することで、当該文化人を輩出する本市を広く市内外に	■ 公益性が高い
	<u>, ш. і т.</u>	発信するとともに、その功績にちなんだ新たな才能の発掘と人材育成に寄与する事業とし て、公益性が高いものである。	
		C、 A 皿 日 2 · 0 0 2 C 8 2 · 0 · 0 · 0 · 0 · 0 · 0 · 0 · 0 · 0 ·	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	· 必要性	旭川ゆかりの文化人(故人)を顕彰することで、当該文化人を輩出する本市を広く市内外に	■ 必要性が高い
0.此安正		発信するとともに、その功績にちなんだ新たな才能の発掘と人材育成に寄与する事業として、文化芸術活動の促進を図る上で有効な施策である。	
		て、スロムドロックにたと回っててアグラルが、このも。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	本市ゆかりの文化人の名を冠した詩の賞を50年以上にわたり続けてきた意義は大きく、総	■ 効果が高い
		事業費の約20~30%を本市が補助することで、本事業が継続されている効果は高い。	 □ 効果が高いとは言えない
		 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	ロ ツケル回いには日でない
5 <i>7</i>	- 小 州	・川の並入日至十二の位日は」で日外のの「在田について、町鉄の肌が」7.0年に。	
57	一の他	1(4)見直し期間:事業の目的と公益性の観点から、終期を設定していない。	

4令和3年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(行以評価)</u>	
補助金名称(当時)	小熊秀雄賞事業補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	文学資料館と連携し、さらなる情報発信の強化に取り組むことで、より効果的な取組とすること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和4年度	文学資料館内に小熊秀雄賞の取組を紹介する区画を設けており、本市ゆかりの文化人の顕彰と顕彰事業の効果増に努めている。

(その他の見直し)

(ての他の兄担し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果
元臣しい十尺	スパルプロC <i>加</i> 木

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	本市ゆかりの文化人の顕彰事業として全国へ発信されるなど実施の意義は大きいが、事業参加者数が少なく市民に普及していない。
解決に向	けた取組	事業周知の方法や手段を工夫し、市民の認知向上を図る。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	事業周知の方法や手段を工夫し、市民の認知向上を図りながら補助を継続する。
外部評価	1	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.293】

[116.250]									
補助金名称	AMP旭川音楽振興会	各種事業開	催補助金						
補助金の性格	団体への補助(事業費	貴補助)				始期	H26	終期	_
予 算 事 業 名	文化芸術活動振興費					(事業コ-	-ド)	052103	
所 管 部 署	社会教育 部	社会教育 部 文化振興 課					話番号	内線(335
交付先(団体、個人等)	音楽文化振興事業を	実施する文化	比芸術団体				·		
交付目的	(対象) 誰、何に対して	文化芸術団業	体が実施す	する旭川市	文化芸術特	定事業助	成方針で定	める音楽文	化振興事
又的日的	(意図) どういう状態にしたい								
対象事業等の内容	旭川市文化芸術特定	事業助成方	針で定める	音楽文化抗	辰興 事業				
積算方法	補助上限額2,000千円	。補助対象	経費の1/2』	以内で、か [·]	つ予算の範	囲内とする	3 .		
=	① 補助対象事業の3	€施回数		単位:回	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	0 0	1	1	1					
	① 補助対象事業の参	^{多加} 者数		単位:人	2				単位:
成果指標と過去5年間の 常徳	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	0 0	465	340	473					

2収支状況等 単位・千円

24	· 収支状況等										
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)			
		前年度繰越									
補	収入	市補助金	È		350	350	350	350			
補助対象事業等		団体負担	日								
象	内	入場料場	又入		219	185	130	150			
事	訳										
業等		その他			315	429	495	450			
の	収入	合計			884	964	975	950			
収支	市補	助率(%)		39.6%	36.3%	35.9%	36.8%			
収支状	支出	合計			884	964	975	950			
況		うち食糧	費、交際費		43	43	44	45			
	次年	度繰越									
	一般	財源			350	350	350	350			
	特定	財源									
市	人	正職員 人工			0.01	0.01	0.01	0.01			
負担額	件	工概貝	金額		77	78	78	81			
額	費	臨時•嘱託/会	計年度任用職員								
	その	他事務費	专								
	合計	<u> </u>			427	428	428	431			
受:	益対	象者数			465	340	473	450			
補具	助金島	単位コスト	(単位:円)		918	1,259	905	958			
		# 1	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	内、支出範囲が法令の規	定に抵触しない			
			四千久	◆ 交付申請等が定め <i>†</i>	ことおりになっている						
٠ ٠٠ .	団体の運営、			◆ 会計処理が適正であ	5る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれてい				
週′	俗性	会記	计処理等		注(剰余金)が補助額から						
				会計事務の責任者を定め	め、適正な会計処理が行	われている。繰越金は発	生していない。				
\.	1 ht :	# / ## 1	3 11 11 1	100 5 5 7 5 0 5 T P 1	S和4年中7670千円 と	10-5-3-3-3-7 P. /	110 to	1-1- F F			

3個別項目に対する評価 [No 293]

3個	国別項目に対する評	· (価	[No.293]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4~44444444444	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補助	基準	- ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
ح	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		■ 同一団体補助だが、見直し設定
適合			していない
台性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
I I I			していない
	(5)交付規程 (支出根拠)		■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
		◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6) 支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
	書類の添付		
		◆ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律の理念を踏まえ、本市の特色を	■ 公益性が高い
21	公益性	生かした音楽文化の振興を図るとともに、若手新人の発掘と人材育成に寄与する事業とし	
		て、公益性が高いものである。 ※R3はコロナの影響で事業中止	□ 公益性が高いとは言えない
		 (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
	14	音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律の理念を踏まえ、本市の特色を	■ 必要性が高い
3必要性		生かした音楽文化の振興を図るとともに、若手新人の発掘と人材育成に寄与する事業とし	
		て文化芸術活動の促進を図る上で有効な施策である。 ※R3はコロナの影響で事業中止。	□ 必要性が高いとは言えない
		 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
ب ۾	4 m	特定の楽器メーカー等によらない新人音楽会オーディション・演奏会を実施することで、若	■ 効果が高い
4効果		手新人の発掘と人材育成に寄与しており、「音楽のまち旭川」を振興するに当たって効果は	
		高い。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	一の他	1/1/目内 期間・東巻の日的トハガ州の組上から 物物を記字していたい	
		1(4)見直し期間:事業の目的と公益性の観点から、終期を設定していない。	

4令和3年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

補助金名称(当時)	旭川音楽振興会各種事業開催補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	引き続き、情報発信しながら、効果を高める取組とすること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和4年度	若手演奏者の発掘を通じて、旭川市の音楽文化のさらなる発展に寄与することができた。
(たの仏の日古し)	

<u>(てい他の兄直し)</u>	
目直しの任使	目体的な内容と効果
元旦しの千尺	共体的な内骨に効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	旭川音楽振興会の活動が令和7年度は休止となったため、今後の補助金の方向性を検討する。
解決に向け	た取組	団体の今後の動向を随時確認していく。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向		
1次評価 見直し 後継団体や音楽文化振興事業の継続に係る動向を随時確認し、必要に応じて交付内容の見直しを図る。		後継団体や音楽文化振興事業の継続に係る動向を随時確認し、必要に応じて交付内容の見直しを図る。		
外部評価	-	_		
2次評価	見直し	後継団体や音楽文化振興事業の継続に係る動向を踏まえ、事業内容を見直すこと。		

1補助金の概要 【No.294】

補 助 金 名 称	アイヌ文化伝承事業	美補助金 ()							
	団体への補助(事業					始期	H24	終期	_
予 算 事 業 名	文化芸術活動振興	 費				(事業コー	-ド)	052103	
所 管 部 署	社会教育	部文	化振興 課			電	話番号	内線 6	324
交付先(団体、個人等)	(公社)北海道アイ	ス協会				•	-		
交付目的	(対象) 誰、何に対して	アイヌ文化	伝承団体						
עיום פייט פייט	(意図) どういう状態にした	、アイヌ文化	の保存・伝	承とアイヌス	文化に対す	る市民の理	関解促進を図	る。	
対象事業等の内容	アイヌの人々の祭事伝承事業	■・神事の祭壇	づくりや民力	族音楽•舞』	踊の指導、	アイヌ民族	工芸の展示	等といったこ	アイヌ文化
積算方法	補助上限額1,000千	円。補助対象	経費の1/2.	以内で、か [・]	つ予算の範	囲内とする	Ö.		
	① 対象事業の開係	崔回数		単位:回	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	1	1 1	1	1					
	① イベント来場者	数		単位:人	2				単位:
成果指標と過去5年間の	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	199	130	130	112					

2収支状況等 単位·千円

24)	2収支状況等						単位:十円	
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度網	操越					
補	収	市補助金	<u> </u>	30	30	30	30	30
助	入	協会負担	3					
象	内							
事	訳							
補助対象事業等		その他		1,820	1,912	1,695	2,180	2,180
の	収入	合計		1,850	1,942	1,725	2,210	2,210
収支状	市補	助率(%)	1.6%	1.5%	1.7%	1.4%	1.4%
又状	支出	合計		1,850	1,942	1,725	2,210	2,210
況		うち食糧	費、交際費	90	70	62	0	0
	次年	度繰越						
	一般財源			30	30	30	30	0
	特定財源							30
市	人件費	正職員	人工	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
負担額		正蝦貝	金額	75	77	78	78	81
額		臨時・嘱託/会	計年度任用職員					
	その他事務費		į					
	合計	†		105	107	108	108	111
受	益対	象者数		88	130	130	112	120
補具	助金草	単位コスト	(単位:円)	1,193	823	831	964	925
		# 2	通 事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	内、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
		7.0	四字次	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
適格性		団体	*の運営、	◆ 会計処理が適正であ	5る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれてい	გ
		会計	†処理等		(剰余金)が補助額から			
				会計事務の責任者を定め	め、適正な会計処理が行	われている。繰越金は発	生していない。	

3個別項目に対する評価 [No 294]

يا ت		- Іш	[140.234]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
即全		◇ 上記以外	□ 合致しない
立		◆ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			■ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
補助金交付基準と	/.\ C +1 #188	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
旭			していない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
'-			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	/o\+ıu <i>+=</i> τ+7	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
		◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する 書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
	音短のがり	◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21.	· 益性	不特定多数の市民に間接的に効果が行きわたっている。	■ 公益性が高い
2.1	X 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 1	4. 再性	アイヌ文化の保存・伝承を図るため、アイヌ民族団体が実施する各種事業への継続的な支援がある。	■ 必要性が高い
3必要性		援が必要である。アイヌ民族文化祭を道内各地で開催するためには各自治体からの支援 の必要性が高いため、継続する。	
		りが女 圧が同じったの、他がy る。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	アイヌ文化の振興がより脚光を浴びている現状において、支援の効果は高い。	■ 効果が高い
	2214		┃ ┃□ 効果が高いとは言えない
		 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	ロ 刈木が同いには日んない
5.2	の他	・川の並入日至十二の位日は」(日外のの・在田について、町牧の肌が)がでし。	
57	, V) [IE	1(2)受益者負担:アイヌ文化の保存伝承を目的とする団体の事業費補助という性格上、受益	者負担の概念はなじまない。

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

補助金名称(当時)	アイヌ文化伝承事業費補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	

<u>(その他の見直し)</u>			
見直しの年度	具体的な内容と効果		

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向		
1次評価	継続	他の自治体とともに、アイヌ文化の伝承活動を支援していくため、補助を継続する。		
外部評価	_	_		
2次評価	継続	_		

1補助金の概要 【No.295】

補助金名称	美術展開催補助金								
補助金の性格	団体への補助(事業	費補助)				始期	H26	終期	_
予 算 事 業 名	文化芸術活動振興費				(事業コー	-ド)	052103		
所 管 部 署	社会教育	部 文	化振興 課			電	話番号	内線 6	324
交付先(団体、個人等)	大規模展覧会開催	こよる美術振	興を図る文·	化芸術団体	<u> </u>				
交付目的	(対象) 誰、何に対して	文化芸術園	団体が実施 ⁻	する旭川市	文化芸術特	f定事業助/	或方針で定	める大規模	展覧会
עים פו עי	(意図) どういう状態にした(
対象事業等の内容	旭川市文化芸術特	定事業助成方	「針で定める	大規模展覽	竟会開催事 _。	業			
積算方法	補助上限額2,000千 なお、令和2~5年 は支出していない。							有われたため	り補助金
	① 補助対象事業の)実施回数		単位:回	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	0	0 0	0	1					
	① 補助対象事業の)参加者数		単位:人	2				· 単位:
成果指標と過去5年間の	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	0	0 0	0	7,918					

2収支状況等 単位·千円

240	又も	大况等						単位:十円	
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)	
		前年度	繰越						
補	収	市補助	金				603	800	
助	入	実行委	員会負担						
刈 象	内								
事	訳								
補助対象事業等		その他					8,972	9,200	
の	収入	合計					9,575	10,000	
収	市補	動率(%	6)				6.3%	8.0%	
収支状	支出	合計					9,575	10,000	
況	うち食糧費、交際費								
	次年	度繰越							
	一般	財源					603	800	
	特定財源								
市	人	正職員	人工				0.01	0.01	
負担額	件	正噸貝	金額				78	81	
額	費	臨時・嘱託/	会計年度任用職員						
	その	の他事務費							
	合計	<u> </u>					681	881	
受益	益対	象者数					7,918	12,000	
補助	力金草	単位コスト	(単位:円)				86	73	
		ш.	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない	
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	四字次	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている				
団体の運営、 適格性 _{会計の理策}		体の運営、	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的、事業内容等と補助目的との整合性がとれている						
週代	合门生	会	計処理等		(剰余金)が補助額から				
				会計事務の責任者を定め	め、適正な会計処理が行	われている。繰越金は発	生していない。		

3個別項目に対する証価 [No 295]

J	別項日に刈りる計	-1ш	[No.295]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/1\⇒+各奴弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	!
1	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	!
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	!
	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	!
リタ		◇ 上記以外	□ 合致しない
立		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
との適合性 	/ 4 \	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
	(称) 别		□ 同一団体補助だが、見直し設定
			していない
			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	· 益性	文化芸術団体が主催する大規模美術展の開催は、市民等に優れた美術作品を鑑賞する	■ 公益性が高い
_ 1	7 III I	機会を提供する事業であり、公益性が高いものである。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		貴重な美術品を輸送や展示に当たっては慎重で厳重な対策が求められることから展覧会	■ 必要性が高い
		開催に係る経費負担が大きなものとなるため、経費補助により優れた美術作品を鑑賞する機会を設けることが可能となる必要性の高いものである。	
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		多数の市民が美術作品を鑑賞し、本市における芸術文化への関心が高められた。	■ 効果が高い
	2214		 □ 効果が高いとは言えない
		 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	ロ 刈木かでいてはらんない
_ =	C / Uh	一冊切並入りを午とい過りに」でり抜しない注目に りいて、記載し読明すること。	
54	の他		

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u>(1」以計1四)</u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	

((の他の元色し)	
見直しの年度	
元臣の十尺	六年リなり古じの木

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

环	咫
解決に向]けた取組

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向				
1次評価	継続	市民の美術鑑賞機会の存続のために補助を継続する。				
外部評価	_					
2次評価	継続	_				

1補助金の概要 【No.296】

補助金名称	但川郷土芸能保存連合会運営補助金								
補助金の性格	団体への補助(事業費補助)				始期	S61	終期	_	
予 算 事 業 名	文化財保存費					(事業コー	-ド)	052201	
所 管 部 署	社会教育 部 文化振興 課				電	話番号	内線 6	335	
交付先(団体、個人等)	旭川郷土芸能保存連	· 但川郷土芸能保存連合会							
交付目的	(対象) 誰、何に対して								
נים בו ניו ב	(意図) どういう状態にしたい	意図) 本市に受け継がれてきた貴重な文化遺産である民俗芸能に対する市民の理解を促進す ういう状態にしたい るとともに、後継者の育成を支援し、保存・普及・伝承を図る。							
対象事業等の内容	郷土芸能発表会や地域での伝承・普及活動、後継者育成のための民俗芸能の保存・継承活動等を行う団体の 運営事業。 なお、コロナ禍及び食ベマルシェステージの縮小によりR4~R6は郷土芸能発表会が実施されず保存連合会と しての伝承・普及活動がなかったことから補助金は支出していない。								
積算方法	補助上限額500千円。	補助対象紹	圣費で予算 <i>0</i>	の範囲内とす	する。				
	① 郷土芸能発表会			単位:回	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	1 1	0	0	0					
	① 会員数			単位∶人	2				単位:
成果指標と過去5年間の	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	226 209	_	_	_					

2収支状況等 単位・千円

24	2収支状況等							
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
補		前年度	繰越	12				9
	収	市補助]金	400				200
助並	入	連合会	:負担					
象	内							
事	訳							
補助対象事業等		その他	,	90				0
の	収入	、合計		502				209
収支	市補	助率(9	%)	79.7%				95.7%
収支状	支出	合計		493				209
況		うち食料	量費、交際費					
	次年	度繰越	Ž	9				0
	一般	財源		400				200
	特定	財源						
市負担額	人	 正職員	人工	0.01				0.01
月扣	件	工机员	金額	75				81
額	費	臨時•嘱託/	/会計年度任用職員					
	その	の他事務費						
	合計	-		475				281
受:	益対	象者数		209				180
補具	助金草	単位コス	ト(単位:円)	2,273				1,561
		#	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	!定に抵触しない
			····	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている				
`兹·	適格性		体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	5る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてい	る
迎	计计	会	計処理等		(剰余金)が補助額から			
					計責任者のもと行われて 業開始時の所属団体への			り、妥当な金額である。
				1000 mile 20 0100 m	Control of an initial but L	7.355 XE411 4E 56 43 1 C 56 C		

3個別項目に対する評価 [No 296]

يا ت	がはロにかりの日	· IIII	[110.230]				
	項目	チェック項目等	→ 評価				
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する				
	/a\+\+\+\+*****************************	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外					
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する				
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない				
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する				
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定					
		◆ 上記以外	■ 合致しない				
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する				
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内					
	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内					
		◆ 上記以外	■ 合致しない				
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)				
付			□ 有(4年以上)				
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満				
準し	(4)見直し期間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな				
0	(終期設定)		い(対象外)				
適合性			■ 同一団体補助だが、見直し設定 していない				
			□ 奨励目的補助だが、終期を設定 していない				
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する				
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない				
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する				
	/ a \	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)				
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する				
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)					
		◇ 上記以外	□ 合致しない				
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)				
21	公益性	入植者により伝えられてきた民俗芸能の伝承団体として本市の貴重な無形文化財の保存 を図る事業であり、公益性が高い。	■ 公益性が高い				
			□ 公益性が高いとは言えない				
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)				
3必要性		補助金に代わる収入がない公益的な団体であり、事業・団体の存続が困難になることから伝統芸能の保存伝承のために補助金は必要である。	■ 必要性が高い				
			□ 必要性が高いとは言えない				
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)				
4効果		郷土芸能発表会では多くの市民の前で貴重な民俗芸能を披露し、貴重な無形文化財の存在について広く周知された。	■ 効果が高い				
		任にういて広へ向和された。	□ 効果が高いとは言えない				
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	1 - Willia 1914 - Grading 204				
5その他		1(2)受益者負担:無形文化財保持団体の運営費補助という性格上、受益者負担の概念はなじまない。 1(3)補助率の参考基準:無形文化財保持団体の運営費補助という性格上、補助率を定めて交付することはなじまない。 1(4)見直し期間:事業の目的と公益性の観点から、終期の設定はなじまない。					

4令和3年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

補助金名称(当時)	旭川郷土芸能保存連合会運営費補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	引き続き、後継者の確保・育成に向けた取組を実施すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和4年度	各加盟団体による地域貢献事業(小学校での指導等)を実施しながら、後継者確保に努めている。
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	保存連合会として単独の発表機会創出は困難であり、発表に代わる保全伝承事業が必要となっている。
解決に向けた取組	補助金のあり方を見直し、加盟団体における保存伝承事業へ直接補助を行うことについて検討していく。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価 見直し		加盟団体を補助対象とした補助金への切り替えについて検討する。
外部評価 –		
2次評価 見直し		交付団体の事業継続の実現性を踏まえ、事業内容を見直すこと。

1補助金の概要 【No.297】

									[140.207]
旭川彫刻フェスタ開催	川彫刻フェスタ開催負担金								
団体への補助(事業費	[補助]				始期	H	12	終期	-
旭川彫刻フェスタ開催	負担金				(事業:	コード)		0521	17
社会教育 部	社会教育 部 文化振興 課 彫刻				館	電話番	号	外線	46-6277
旭川彫刻フェスタ実行	委員会								
(対象) 誰, 何に対して	実行委員会	€が主催する	る「彫刻のま	きちづくり」に	関連す	る事業を	を対象と	とする。	
(意図) どういう状態にしたい						刻への	理解を	深め、旭	川市における
て隔年で開催する野外彫刻たが、その期間、会場は自よう取り組んできた。また、で公開制作に参加した14	川の公開制作が 由に見学可能 非制作年には 作家の作品を・	があり、公開制 なほか、制作 彫刻教室やフ 一堂に展示す	作では市内に 体験等のワー ォーラム、講演 る20周年記念	二制作会場を記 ウショップも開 寅会などの市 E 弦展を実施。R6	とけ、約1 催し、制化 民参加型の	か月の期 作の過程 の事業を	間で彫刻 も含めて 実施して(削作品を制作 彫刻に親し いる。R4年	作、完成させてき むことができる 度には、これま
「彫刻のまちづくり」(に関連する₹	事業に係る組	経費で、予算	草の範囲内					
① 事業実施数			単位:回	2					単位:
R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03		R04	R05	R06
20周年記録集 動画コンテンツ 発行(1回) 作成(1回)									
•			単位:人	2					単位:
R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03		R04	R05	R06
136 130	99	94	101						
	団体への補助(事業費担川彫刻フェスタ開催社会教育 部担川彫刻フェスタ実行(対象) 誰,何に対して(意図)どういう状態にしたい「彫刻にもっと親しんでもらって隔年での期間、会り場はんできた。また、その期間に参加した144億作業を行ったほか、R7年「彫刻のまちづくり」に ① 事業実施数 R02 R03	旭川彫刻フェスタ実行委員会 (対象) 誰,何に対して (意図) どういう状態にしたい 彫刻を市り 彫刻のまち 「彫刻にもっと親しんでもらう」ことを目的 で隔年で開催する野外彫刻の公開制作が、その期間、会場は自由に見学可能 よう取り組んできた。また、非制作品をで公開制作に参加した14作家の作品をで公開制作に参加した14作家の作品をでいた。また、R7年度実施の事業 「彫刻のまちづくり」に関連する ① 事業実施数 R02 R03 R04 「彫刻サポート隊人数 R02 R03 R04	団体への補助(事業費補助) 旭川彫刻フェスタ開催負担金 社会教育 部 文化振興 課 旭川彫刻フェスタ実行委員会 (対象) 誰,何に対して (意図) どういう状態にしたい 彫刻を市民にとつてよ 彫刻を市民にとつてよ 彫刻でもらう」ことを目的として、市民各 て隔年で開催する野外彫刻の公開制作があり、公開制 たが、その期間、会場は自由に見学可能なほか、制作 よう取り組んできた。また、非制作年には彫刻教室やフ で公開制作に参加した14作家の作品を一堂に展示す 修作業を行ったほか、R7年度実施の事業に向けた打ち 「彫刻のまちづくり」に関連する事業に係る係 ① 事業実施数 R02 R03 R04 R05 20周年記録集 動画コンテンツ 20周年記念展 記録誌制作(1回) ① 彫刻サポート隊人数 R02 R03 R04 R05	団体への補助(事業費補助) 旭川彫刻フェスタ開催負担金 社会教育 部 文化振興 課 旭川彫刻フェスタ実行委員会 (対象) 誰,何に対して (意図) どういう状態にしたい 彫刻を市民にとってより身近な存彫刻のまちづくりを官民協働で推 「彫刻にもっと親しんでもらう」ことを目的として、市民各層からなる実で隔年で開催する野外彫刻の公開制作があり、公開制作では市内にたが、その期間、会場は自由に見学可能なほか、制作体験等のワーよう取り組んできた。また、非制作年には彫刻教室やフォーラム、講で公開制作に参加した14作家の作品を一堂に展示する20周年記念修作業を行ったほか、R7年度実施の事業に向けた打ち合わせを行っ 「彫刻のまちづくり」に関連する事業に係る経費で、予算 ① 事業実施数 単位:回	団体への補助(事業費補助) 旭川彫刻フェスタ開催負担金 社会教育 部 文化振興 課 彫刻美術 旭川彫刻フェスタ実行委員会 (対象) 誰,何に対して 実行委員会が主催する「彫刻のまちづくり」に (意図)	団体への補助(事業費補助) 旭川彫刻フェスタ開催負担金 社会教育 部 文化振興 課 彫刻美術館 旭川彫刻フェスタ実行委員会 (対象) 誰、何に対して	団体への補助(事業費補助) 始期 Hi 旭川彫刻フェスタ開催負担金 (事業コード) 社会教育 部 文化振興 課 彫刻美術館 電話番 旭川彫刻フェスタ実行委員会 (対象) 実行委員会が主催する「彫刻のまちづくり」に関連する事業 (意図) 影刻を市民にとってより身近な存在にするとともに彫刻への 彫刻のまちづくりを官民協働で推し進めていく。 「彫刻にもっと親しんでもらう」ことを目的として、市民各層からなる実行委員会が彫刻による「まちづく て隔年で開催する野外彫刻の公開制作があり、公開制作では市内に制作会場を設け、約1か月の期たが、その期間、会場は自由に見学可能なほか、制作体験等のワークショップも開催し、制作の過程とう取り組んできた。また、非制作年には彫刻教室やフォーラム、講演会などの市民参加型の事業をで公開制作に参加した14作家の作品を一堂に展示する20周年記念展を実施。R6年度はこれまで公僚作業を行ったほか、R7年度実施の事業に向けた打ち合わせを行った。 「彫刻のまちづくり」に関連する事業に係る経費で、予算の範囲内 ① 事業実施数 単位:回② R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 「彫刻サポート隊人数 単位:人② R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03	団体への補助(事業費補助)	団体への補助(事業費補助)

				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)	
		前年度繰越		709	544	238	370	553	
補	収	市負担金		200	1,300	300	300	300	
助対	入	実行委	員会負担	200	1,300	300	300	300	
助対象事業等	内訳								
業等		その他							
の	収入	合計		1,109	3,144	838	970	1,153	
収支	市補	助率(%	6)	18.0%	41.3%	35.8%	30.9%	26.0%	
支状	支出	合計		565	2,905	468	417	1,153	
況		うち食精	費、交際費		65				
	次年	度繰越		544	238	370	553	0	
	一般	財源		0	0	0	0	150	
	特定	財源		200	1,300	300	300	150	
市	人	正職員	人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
負担額	件	正嘅貝	金額	751	767	776	783	808	
額	費	臨時·嘱託/	会計年度任用職員						
	その	他事務	費						
	合討	<u> </u>		951	2,067	1,076	1,083	1,108	
受:	益対	象者数		_	2,442	650	_	795	
補具	功金的	単位コスト	(単位:円)	_	846	1,655	_	1,394	
		#-	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規!	定に抵触しない	
			世 子 ス	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
٠ <u>٠</u> ٠-	₩. ₩	団	体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	り、事業内容等と補助目的	りとの整合性がとれている	5	
心可。	格性	会	計処理等		:(剰余金)が補助額から#				
					を査から会計監査報告を受 こで必要であり、適正が額		理されている。繰越金に	ついては、翌年度当初	
\'\	1 / JL	典 / 丁 ււ	ロハハ は ノ		₹ 16794円 △	105 F B 3 3 5 5 7 10 A	100 F # 7 000 T F A	102550000	

[No.297] 3個別項目に対する評価

3個	別項目に対する評	『 1曲	【No.297】
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1) 对象在复	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助金		◆ 上記以外	■ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
付基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4) E ± 1 #0 88	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
ے	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の済	(心)为及()		■ 同一団体補助だが、見直し設定
適合			していない
性			┃ □ 奨励目的補助だが、終期を設定
'-			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(c) + U+=+7	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	音及びがり	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	· 益性	市民参加型の事業(野外彫刻公開制作、講演会、ワークショップ)を実施するほか、公開制	■ 公益性が高い
	<u>у шт Іт</u>	作された彫刻は市に寄贈・設置され、それぞれの場所で旭川の景観の中に息づき、市民が 身近に彫刻を感じ親しむことができる「彫刻のまち旭川」の一要素を形成している。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3业	必要性	事業の収益性が乏しいため、補助金がなくなった場合の事業の実施は困難となる。	■ 必要性が高い
			□ 必要性が高いとは言えない
		 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4 ٨	h =	官民協働で行う事業であり、野外公開制作やシンポジウム等の開催を通じて、「彫刻のま	■ 効果が高い
4効果		ちづくり」の推進に大きく寄与している。令和4年度には、公開制作に参加した14作家の作	
		品を一堂に展示する20周年記念展を実施し、「彫刻のまち」の魅力発信を行った。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
		1(2)受益者負担:事業の性格上、定めることはなじまない。	
57	の他	1(3)補助率の参考基準:事業の性格上、定めることはなじまないが、2分の1以内で推移して	
		1(4)見直し期間:事業の目的と公益性の観点から終期は設定していないが、事業開始から2 年度に開催した20周年記念展の開催結果、時勢を踏まえつつ、今後の事業の在り方につい	
		平度に開催した20周年記念展の開催結果、時勢を踏またプラ、予復の事業の任り方にプい ていく。	て、天门女良女内で兄但しを快討し

4令和3年度行政評価への対応状況等

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	旭川彫刻フェスタ開催負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
見直し	事業開始から20年が経過し、今後の事業の在り方を検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和8年度以降(予定)	令和4年度に本館とステーションギャラリーで「旭川彫刻フェスタ20周年記念展」を開催し、令和5年度に20周年記念展の記録誌を制作した。今後の事業の在り方についても、実行委員会の企画部小委員会で検討を継続し、野外彫刻の公開制作によらない事業として、中心市街地における大規模イベントとの同時開催等の検討をしていく。

(その他の見直し)

<u> </u>	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	市民により彫刻を身近に感じてもらえる事業の在り方、新たな方向の事業(ワークショップや講演会等)実施の検討。
解決に向け	ナた取組	企画部小委員会を開催し、野外彫刻の公開制作によらない新たな取組(中心市街地における大規模イベントとの同時開催等)の検討を進める。

評 価	- 結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	今後の事業のあり方について、実行委員会内で事業内容の見直しの検討を進めながら継続する。
外部評価	_	_
2次評価	継続	-

1補助金の概要 【No.298】

一冊助並の佩女											[140.230]
補 助 金 名 称	旭川ミュー	ジックウィー	-ク開催負担	<u> </u> 金							
補助金の性格	団体への補	輔助(事業費	[補助]				始期	R4	1	終期	_
予 算 事 業 名	旭川ミュー	ジックウィー	-ク開催負担	金			(事業=	コード)	·	05213	0
所 管 部 署	社	会教育 部	文	化振興 課				電話番	号	内線	6335
交付先(団体、個人等)	旭川ミュー	ジックウィー	-ク実行委員	会							
交付目的	(対象) 誰、何に対	して	旭川ミュージ	ジックウィー	ク実行委員	会					
	(意図) どういう状態	態にしたい	市民が様々	!なジャンル	の音楽に親	現しみ、本市	5の音楽	をさらに	発展さ	せる。	
対象事業等の内容	旭川ミュ ー ・	ジックウィー	-クの運営								
積算方法	交付対象網	圣費を基に 領	毎年度予算(の範囲内と	する。						
<u>-</u>	① 参加団	体数			単位:団体	② 観覧者	·数				単位:千人
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	F	R04	R05	R06
の実績			24	66	64				50	1	5 15
	① 満足度		·		単位:%	2			•		. 単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	F	R04	R05	R06
実績			71	100	100						

2収支状況等 単位・千円

24	収支状況等							
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度	繰越		0	0	721	525
補	収	市負担	金		3,100	4,000	3,700	3,700
助対	入	実行委	員会負担		4,800			
象	内	協賛金	: -		1,252	1,320	1,452	1,300
事	訳	エント!	ノ一料		70	81	97	105
助対象事業等		その他	,		2,896			
の	収入	合計			12,118	5,401	5,970	5,630
収	市補	助率(%)		25.6%	74.1%	62.0%	65.7%
支状	支出	合計			12,118	4,680	5,445	5,630
況		うち食料	量費、交際費					
	次年	度繰越	<u>ì</u>		0	721	525	0
	一般	財源			0	3,000	2,700	2,700
	特定	財源			3,100	1,000	1,000	1,000
市	人	一一世	人工		0.2	0.2	0.2	0.2
市負担額	件	正職員	金額		77	1,551	1,567	1,615
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	その	D他事務費						
	合討	<u> </u>			3,177	5,551	5,267	5,315
受	益対	象者数			24	66	64	60
補」	功金島	単位コス	ト(単位:円)		132,375	84,106	82,297	88,583
		++	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	内、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
			: 理事垻	◆ 交付申請等が定めた。	ことおりになっている			
			体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	5る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれている	3
適	格性	会	計処理等		(剰余金)が補助額から			
				適正に処理されている。		らり、また、総会時におい 図る上で必要であり、適፤		を受けていることから、

3個別項目に対する評価 [No 298]

ا ت	ᆲᇭᄵᇽᄓᅜᄼᆝᇰᄼᄝ	- Ш	[140.230]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4 / 土1 在 47 #	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	↓ ◇ 個人 1/3以内	
補	基準	- ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助		◆ 上記以外	■ 合致しない
補助金交付基準と		- ▼	□ 有(4年未満)
父		The man and the ma	□ 有(4年以上)
其		 ◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	_ □ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直U期間 (終期設定)	A MANAGE CALIDANIA IN THE	い(対象外)
の			■ 同一団体補助だが、見直し設定
適合性			していない
性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
_			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
	(6)支出を証する 書類の添付	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
		◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
	百枚のがり	◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	\$益性	市民が様々なジャンルの音楽に触れることができるイベントを実施することで、「音楽のまち」である本市の文化の一層の振興を図るものであり、公益性が高い。	■ 公益性が高い
	- <u> </u>	ろ」でめる本川の大化の一層の振典を図るものであり、公量にか高い。 	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		協賛金のみでは事業の実施が困難であるため。	┃■ 必要性が高い
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		様々なジャンルの音楽に触れる機会を創出することで、音楽振興の他,多くの人々に希望	■ 効果が高い
'^	7	や喜びを与えた。	 □ 効果が高いとは言えない
		 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	□□ ツブル□0.には日でない。
		1/2) 八字 1/2	
5その他		1(2)受益者負担:不特定多数の市民を対象としているため、受益者負担の考え方はなじまな 1(3)補助率の参考基準:自己資金がなく、協賛金等及び市負担金で事業が行われていること 1(4)見直し期間:事業の目的から、終期の設定はなじまない。	

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u> </u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	友好都市との取組みによるゲスト演奏者の招へいにより事業費が増大傾向にある。
解決に向	けた取組	事業内容を精査し、効率的で効果的な事業運営を図る。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	事業内容を精査し効率的で効果的な事業運営を図りながら継続する。
外部評価	-	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.299】

補助 金名称	優佳良織普及促進事業補助金								
補 助 金 の 性 格	団体への補助(事業費補助)		始期	R6	終期	-			
予 算 事 業 名	優佳良織普及促進事業補助金	(事業コー	·ド)	052218					
所 管 部 署	社会教育 部 文化振興	電	話番号	内線 6	335				
交付先(団体、個人等)	合同会社優佳良織工房								
六八日的	(対象) 本市発祥の「優佳良織」の技術を伝承する合同会社優佳良織工房が実施する織子の育 誰、何に対して 成と市民を対象とした普及促進事業								
交付目的	(意図) どういう状態にしたい 優佳良織工芸の	観光資源、地域産業として	の永続的な						
対象事業等の内容	優佳良織の伝承団体が行う織子の人材	育成と普及のために実施	する織体験:	<u>소</u>					
積算方法	補助対象経費の1/2以内で、かつ予算の)範囲内とする。							
	① 技術伝承を受ける職人の数 単位:人 ② 単位:								
事業量指標と過去5年間	R02 R03 R04 R0	5 R06 R02	R03	R04	R05	R06			
の実績		1							
	① 織体験会の参加者数	_{単位:人} ② 育成 [。]	中の織子が制	作した試作品	品の販売額	単位:千円			
成果指標と過去5年間の	R02 R03 R04 R0		R03	R04	R05	R06			
実績		184				94			

2収支状況等 単位・千円

2収支制	2収支状況等								
			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
	前年度網	燥越							
補収	市補助金	金				3,305	3,027		
助 入	自己負担	日				3,781	3,398		
が 内 訳									
補助対象事業等									
耒 等	その他						640		
の収入	合計					7,086	7,065		
収市補	動率(%)				46.6%	42.8%		
収 市補 支出	급合計					7,086	7,065		
況	うち食糧	費、交際費							
	E度繰越								
	財源					1,660	3,027		
	財源					1,645			
市 人	正職員	人工				0.1	0.1		
人件費		金額				783	808		
		会計年度任用職員							
	の他事務費								
合計						4,088	3,835		
受益対						184	200		
補助金島	単位コスト	·(単位:円)				22,217	19,175		
	共i	通事項		:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目に	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない		
	,			寸申請等が定めたとおりになっている 					
適格性		本の運営、	◆ 会計処理が適正であ			的との整合性がとれている	3		
소크 IU Iエ	会	計処理等		(剰余金)が補助額から		佐 ナハスニしふこ 空却	リー加 田さん ナいフ ・2		
			会計処理については会記 越金は発生していない。	T頁仕有のもど行われて	カり、また、会計監査を実	施していることから、適切	に処埋されている。裸		
Ne Luli	# / ##\		150 F F 5 500 T F /	>和4年由7679千円 <i>4</i>	\	\			

3個別項目に対する評価 [No 299]

	が現立に対する計	Щ	[110.233]
	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4/土岳奴曲	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
即全		◇ 上記以外	□ 合致しない
立		◆ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			■ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
補助金交付基準と	/ . \	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間		い(対象外)
の。	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
適合			していない
合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
'			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	日 /八 4 / / / / / / / /	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	·益性	平成29年12月に優佳良織の存続を願う83,654筆の署名が本市に提出されており、多くの	■ 公益性が高い
	» · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	市民が優佳良織存続を願っている。また、「優佳良織」は本市を代表する工芸品として海外にまでその知名度は及んでいるが、同様の事業を行っている民間団体等は他にない。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3业	必要性	平成28年の優佳良織工芸館閉鎖等により、優佳良織製品を販売する事業者及び職人育 成の担い手がいなくなっていた。職人の育成については経費負担が大きく、当面は補助金	■ 必要性が高い
		成の担い子がいなくなっていた。職人の自成については軽負負担が入さく、ヨ面は補助金がなくなった場合の事業維持は困難となる。	 □ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		優佳良織工芸館の閉鎖により存続が危ぶまれている優佳良織について、織子の育成によ	■ 効果が高い
4交	力果	る技術伝承の継続とともに、市民を対象とした織体験会が実施されることで、本市発祥のエ	■ 刈未が高い
		芸技術としての存続と普及が図られている。	□ 効果が高いとは言えない
57	の他		

4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

(1)政計1四/	
補助金名称(当時)	優佳良織技術伝承支援補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(3 0 W 0 D ± 1)	

(その他の見直し)

目前しの年度	具体的な内容と効果	
兄旦しの干皮	具体的な内谷と効果	
		· ·

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	技術伝承を行うための人材の確保
解決に「	句けた取約	到 新人の織子の中から正職員を増やし、安定的な人材育成を目指す。

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	新人の織子の中から正職員を増やし、安定的な人材育成が図られるよう支援しながら補助を継続する。
外部評価	_	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.300】

											[140.000]
補 助 金 名 称	サイエンスオ	ドランティア	旭川負担金								
補助金の性格	団体への補	助(運営費	補助)				始期	H1	6	終期	_
予 算 事 業 名	科学館管理	科学館管理費 和学館管理費					(事業=	1一ド)		0512	12
所 管 部 署	社	社会教育 部 科学館						電話番	号	内約	泉448
交付先(団体、個人等)	サイエンスオ										
交付目的	(対象) 誰、何に対し	て	科学館で活	動するサイ	エンスボラン	ンティア旭川					
XIII	(意図) どういう状態		科学館の選 発活動を行		舌動を支援し	ンてもらうこと	こにより、	自然科学	学や技行	術に関す	る各種普及啓
対象事業等の内容	科学館の運 業に付随す		5動の支援、	会員間の選	直絡調整や)	連絡誌の発	行、会員の	の研修・	人材育	『成、その	他これらの事
積算方法 会員が科学館業務に従事した場合に交通費等を支給するための費用、サイエンスボランティア旭川の事務局に係る費用、ワークショップ等科学館の事業支援に係る材料費の合計で、予算の範囲内。						事務局業務					
	① 科学館	支援事業回	数		単位:回	2					単位:
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	F	₹04	R05	R06
の実績	474	420	539	488	461						
h = 11.1= 1.1= 1.1= 1.1==	① 科学館	支援事業従	事者数		単位:人	2					
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	F	₹04	R05	R06
実績	2,603	3,302	3,469	3,462	3,320						

27.	2似文状沉等 单位:十円							
			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)	
		前年度繰越	0	0	0	0	0	
補	収	市負担金	4,709	5,000	5,000	5,000	5,000	
助対	入	協議会負担	0	0	0	0	0	
象	内							
象事	訳							
業等		その他						
の	収入	合計	4,709	5,000	5,000	5,000	5,000	
収支状	市補	前助率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
火状	支出	台計	4,709	5,000	5,000	5,000	5,000	
況		うち食糧費、交際費						
	次年	度繰越	0	0	0	0	0	
	一般財源 4,709			5,000	5,000	5,000	5,000	
	特定	對源						
市	\downarrow	正職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
負担額	件	金額	751	767	776	783	808	
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	その	他事務費						
	合計	ŀ	5,460	5,767	5,776	5,783	5,808	
受:	益対	象者数	88	87	98	90	86	
補具	助金島	単位コスト(単位:円)	62,045	66,287	58,939	64,256	67,535	
		共通事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づい	いている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規定	定に抵触しない	
		八世子久	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている				
\ 		団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	り、事業内容等と補助目的	りとの整合性がとれている		
迪/	恪性	会計処理等	◇ 決算における繰越金					
			会計処理は、「サイエンス 会時に監査役員から会計	ボランティア旭川事務規り - 監査報告を受けているこ	則」において会計処理の規 とから 適正に処理されて	則を定め、事務局長の下 いろ、負担全については:	「行われている。また、総 概算払であり全剰全が	
			発生した場合は清算時に	戻入されるため繰越金は	発生しない。	. vの。 名に立に つい こは	秋井 五〜(の)ケ水木 重り・	

3個別項目に対する評価 [No 300]

이 II	■別項日に刈りる評	лш	[No.300]
	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(4) 社会奴弗	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助全		◆ 上記以外	■ 合致しない
助金交付基		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付		<u> </u>	口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	/ 八日本 地間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)	1	い(対象外)
の海	(於别政化)	<u> </u>	■ 同一団体補助だが、見直し設定
迎合		!	していない
適合性		<u> </u>	□ 奨励目的補助だが、終期を設定
1-		<u> </u>	していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◆ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
	自 及 > / / / /]	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	s 益性	常設展示室の案内解説や科学館事業の支援により、サービスの向上・事業の充実化が図られている。	■ 公益性が高い
	. The 1-1	れている。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3业	必要性	科学館の常設展示室運営業務を支えるマンパワーとして代替不可の組織であり、補助事業 に類似したサービス等を提供する団体が他にない。	■ 必要性が高い
		に類似したサービス等を提供する団体が他にない。 	 □ 必要性が高いとは言えない
		 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	□ 必要性が高いとは言えない (左の内容を踏まえての評価)
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、美積等に基づさ具体的に記入する) 常設展示室利用者:94,012人、レファレンスルーム利用者:19,559人、ボランティア支援を受け	
4效	力果	た科学館事業の参加者:8,303人が補助事業によるサービスを受け、科学館の利活用拡大・	■ 効果が高い
		事業実績に大きく寄与している。	├── 効果が高いとは言えない
		 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	L WAY BY CIVILIE
57	一の他	1(2)~(4) 科学館の案内解説、指導ができる者をボランティアとして常駐する団体として、科学館の設立当	リカムこ士PLの物画レいる政策的な
5		科学期の条内解説、指導かできる者をホランテイアとして常駐する団体として、科学期の設立 意義で事業支援しており、運営経費の全てを負担金でまかなっていることから、受益者負担、複	
		なじまない。	

4令和3年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(1丁以評1四)</u>	
補助金名称(当時)	サイエンスボランティア旭川負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	科学館の事業活動に貢献するものであり、学生や教育機関との連携など、引き続き、担い手の安定確保に向けて取り組むこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	ボランティアの担い手が不足している。
解決に向	けた取組	新規にボランティアの担い手を確保することが困難であり、現在の担い手の会員数が減少傾向にあることから相互協力を図る。

<u>0年</u> 7年11年11日					
評	価	結果	理由、改善・見直しの方向		
1次	評価	継続	サイエンスボランティア旭川は館の運営に必要な団体であるが、近年その担い手が減少傾向にあり、新規担い手を確保することが困難であることから、相互協力を図りながら継続して支援していく。		
外部	評価	_	_		
2次	評価	継続	_		